

ナースの星Webセミナー

がん患者における皮膚トラブル対策

スキンケア・MDRPU、 予防のいろは

静岡県立静岡がんセンター
皮膚・排泄ケア認定看護師
森岡 直子

CVポート造設後



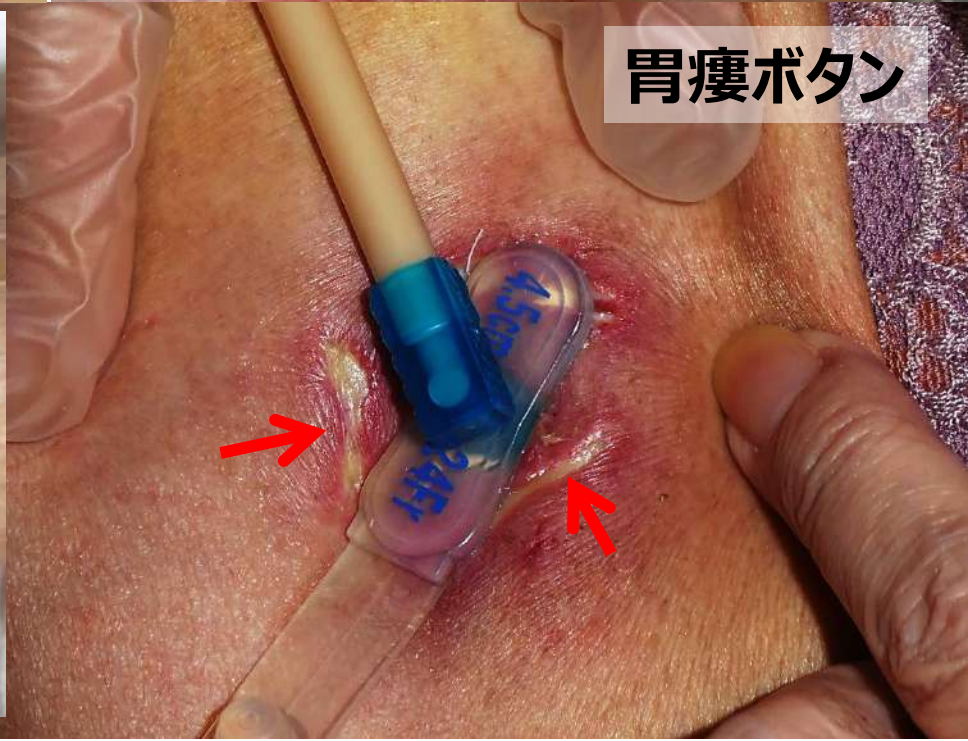
全麻手術後 胃管



上肢



胃瘻ボタン



目次

- 1. がん患者の皮膚の特徴**
- 2. 基本的なスキンケアとは**
- 3. スキンケアの概要と予防ケア**
- 4. MDRPUの概要と予防ケア**



1. がん患者の皮膚の特徴

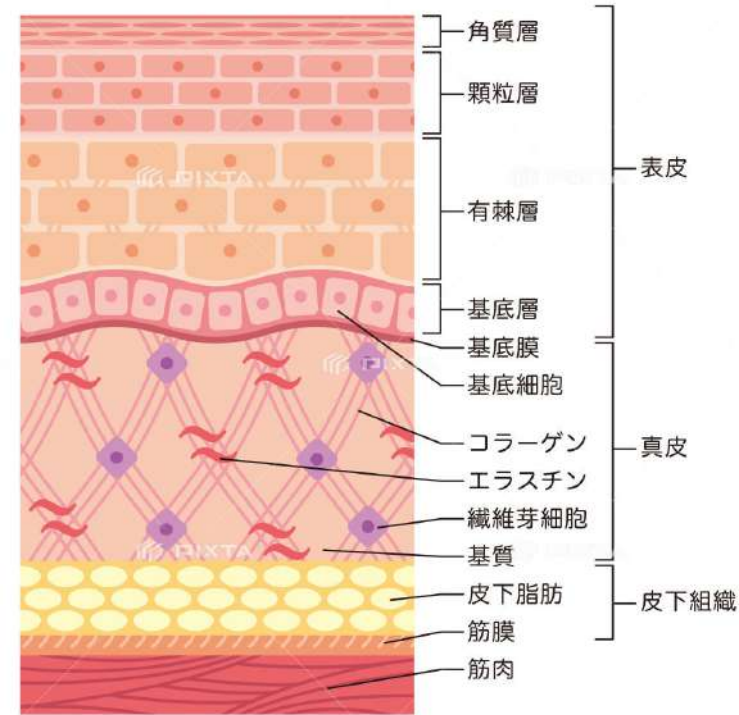
2. 基本的なスキンケアとは

3. スキンケアの概要と予防ケア

4. MDRPUの概要と予防ケア

皮膚の構造

- 皮膚は、表皮・真皮・皮下組織からなる。
- 表皮の角質層は、水分を保持しバリア機能を有する。
- 表皮は、古い細胞が新しい細胞に入れ替わり(新陳代謝)、バリア機能が保たれる。



がん患者の皮膚

- 化学療法や放射線療法による影響で新陳代謝が抑制され、皮膚は薄くなる
 - 皮脂の分泌量も低下し皮膚が乾燥しやすい
 - がん進行時には、がん悪液質症候群により筋肉量の減少や皮膚の弾力性が低下する
- 損傷する要因が多く、創傷治癒力が低下している。
 - 処置や治療を中止することが困難である。



1. がん患者の皮膚の特徴

2. **基本的なスキンケアとは**

3. スキンケアの概要と予防ケア

4. MDRPUの概要と予防ケア

スキンケアとは

洗浄

- ・弱酸性洗浄剤の使用
- ・しっかりと泡をつくり、
愛護的な洗浄

保湿

- ・保湿効果のある
保湿剤の使用
- ・保湿の頻度
塗り方

保護

- ・被膜剤、剥離剤の
使用
- ・皮膚保護材
- ・テープを使用しない
- ・日焼け止め

洗淨方法

- 湯は40℃前後
- 予洗いをする
- 弱酸性の洗淨剤を使用
- しっかり泡立てる
- 指や掌の腹でやさしくなでるように洗う
- 十分、洗い流す
- 擦らないように拭く



愛護的な清拭

- タオルは熱過ぎないようにする
→ 皮脂を取りすぎて乾燥が助長する
- ゴシゴシ擦らない
- 清拭剤を使用するのもよい





1. がん患者の皮膚の特徴

2. 基本的なスキンケアとは

3. スキンケアの概要と予防ケア

4. MDRPUの概要と予防ケア

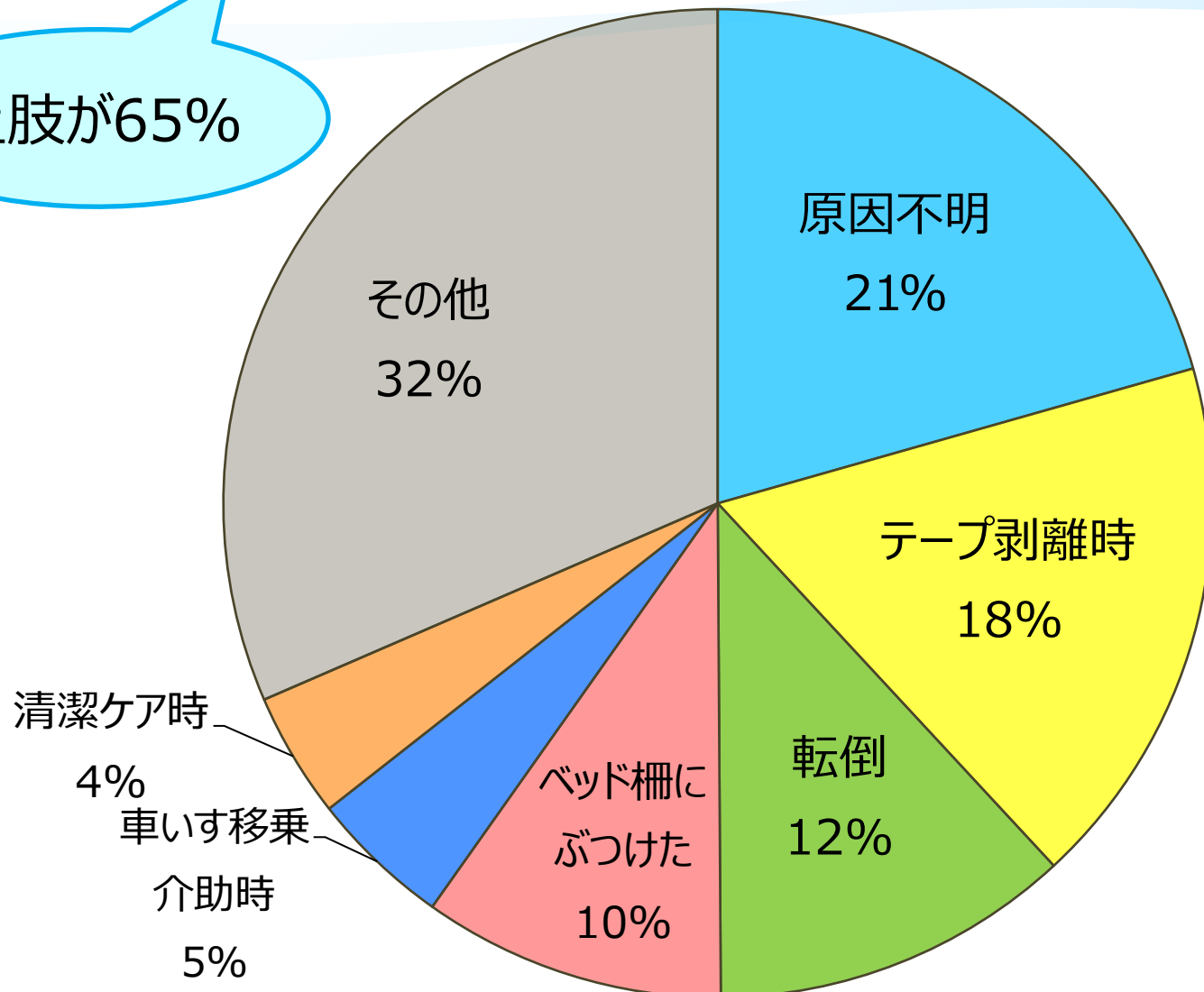
スキン-テア(Skin Tears)とは

主に四肢に発生する外傷性創傷であり、
摩擦単独あるいは摩擦・ズレによって生じる



スキン-ケアの発生時の状況

上肢が65%



点滴刺入部固定のテープによる創傷

右前腕



左上腕



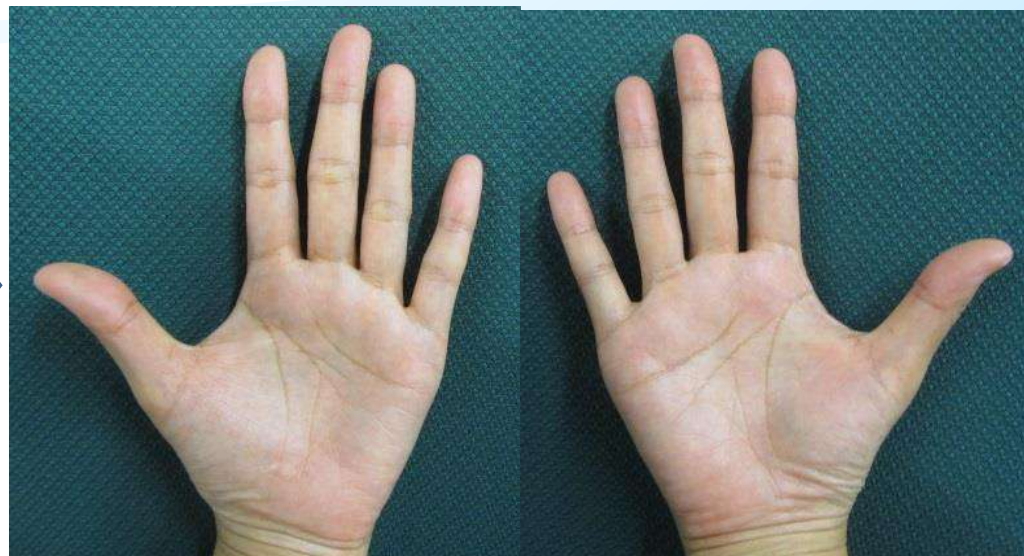
予防ケア：皮膚の保湿

- 低刺激性のローションタイプの保湿剤を1日2回、またはそれ以上塗布する
- 清潔ケア後15分以内に保湿する
- 冬期は室内の加湿する
- 在宅では、保湿成分配合の洗剤や入浴剤を使用することもある

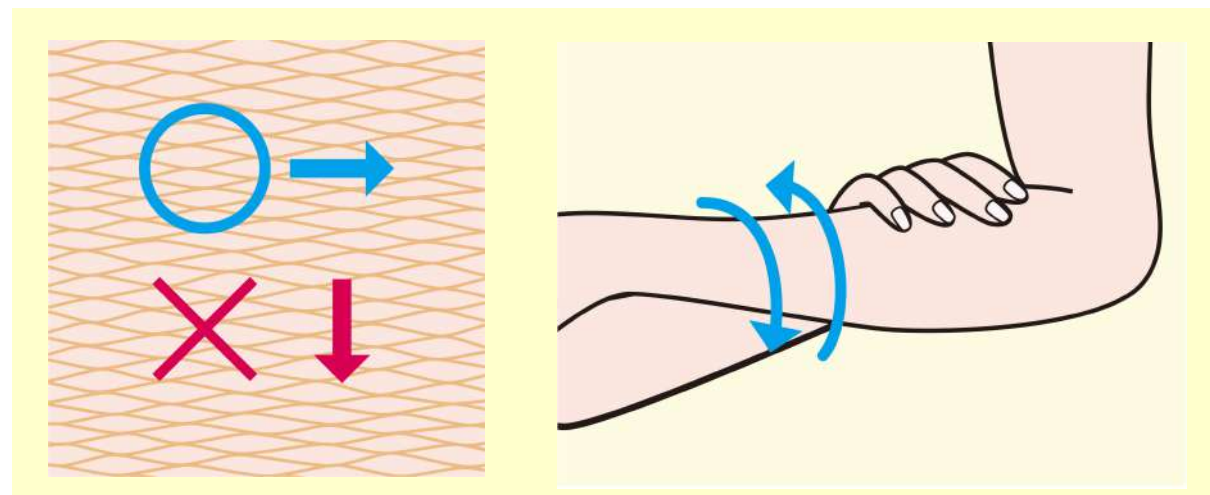
保湿剤を塗る量と塗り方

ローション

軟膏
クリーム



手のひら2枚分の面積



皺や皮溝に
浸透するように

画像提供：ナースの星Q&Aオンライン

外力からの保護

- ゆとりのある、柔らかい素材のもので保護をする



- 被膜剤や剥離剤を使用する

被膜剤
一例



コロプラスト



スリーエム ジャパン

剥離剤
一例



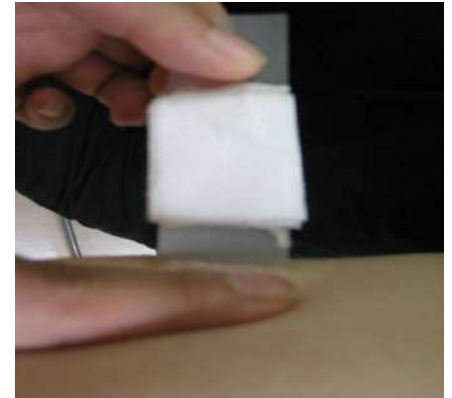
スリーエム ジャパン



スミス・アンド・ネフュー

テープによるスキン-テアの予防

- 愛護的な剥離
- 保湿の励行
- 剥離刺激の少ないテープの選択
- 被膜剤、剥離剤を使用する
- テープを使用しない固定法の検討




患者さんに触れる時は



上からつかまない

下から支える



- 
1. がん患者の皮膚の特徴
 2. 基本的なスキンケアとは
 3. スキンケアの概要と予防ケア
 4. **MDRPUの概要と予防ケア**

MDRPUとは

Medical **D**evice **R**elated **P**ressure **U**lcer

医療関連機器圧迫創傷

(医療関連機器による圧迫で発生する創傷)

従来の褥瘡とは厳密には異なるが、

広い意味では**褥瘡**である



画像提供:アルケア株式会社



画像提供:フィリップス・レスピロニクス合同会社



画像提供:ジンマー・バイオメット合同会社

関連する医療機器

- 医療用弾性ストッキング
- ギプス・シーネ 一般病院
- 気管内チューブ・バイトブロック
- NPPVマスク(非侵襲的陽圧換気療法)
- 手術用体位固定用具 大学病院
- 間欠的空気圧迫装置
- 体幹装具 小児病院
- 車いすアームレスト・フットレスト
- 経ろう管チューブ 老健施設
訪問看護
- ベッド柵

MDRPU発生概念図

機器要因

- ・サイズ、形状の不一致
- ・情報提供不足

ケア要因

- ・外力低減ケア
- ・スキンケア
- ・栄養補給
- ・患者教育

フィッティング

外力

- ・湿潤
- ・栄養

中止困難

個体要因

- 皮膚の菲薄化
- ・循環不全
- ・浮腫
- ・機器装着部の湿潤
- ・機器装着部の軟骨・骨・関節等の突出
- ・低栄養
- ・感覚・知覚・認知の低下

MDRPUの予防ケア

- ① 適切なサイズを選択
- ② 皮膚との接触を防止 **外力低減ケア**
- ③ 定期的な着脱（圧抜きと皮膚の観察）
外力低減ケア・スキンケア
- ④ 適切な装着、使用方法
フィッティング

①適切なサイズを選択

サイズの不一致は過剰な圧迫の原因となる



- 年齢、体格に合わせたサイズや形状を選択する
- メーカーの推奨するサイズ表に従い選択する
- 慢性期の患者や術後の患者は**体型が変化**することがあるので注意する

医療用弾性ストッキングの一例

アンシルク・プロ
(アルケア)



ハイソックス

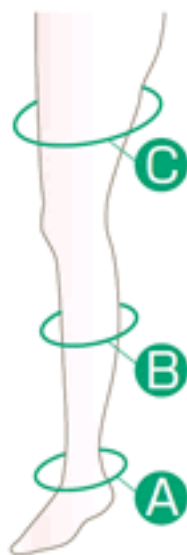


ストッキング



ハイソックス(片足) ストッキング(片足)

サイズ表



サイズ	適応範囲(単位:cm)		
	A 足首周囲	B ふくらはぎ周囲	C 大腿周囲
LL	23~27	40~46	55~64
L	21~25	36~42	50~59
M	19~23	32~38	47~56
S	17~21	28~34	44~53
SS	15~19	24~30	40~49

※ 2つのサイズに該当する場合は、足首周囲が適応範囲の中央値に近いサイズをお選びください。

②皮膚との接触の防止：外力低減ケア

同一部位の圧迫が加わることで損傷の原因であり、皮膚を保護して予防する。

＜雑品（保護目的）＞ ※創傷に使用不可

- ・シート状材料（レストン・ビジダーム・ブラバ皮膚保護テープ、リモイスパッドなど）
- ・ロール状材料（マイクロフォームテープ・ココロール・アンダーラップテープなど）

＜医療機器＞ ※創傷に使用不可

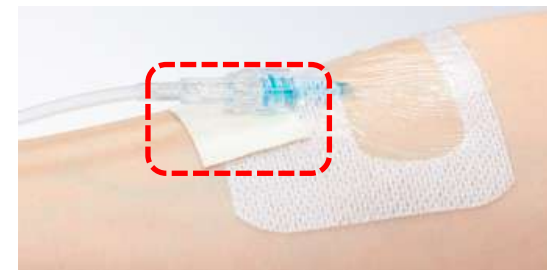
- ・皮膚バリア粘着プレート（シカケア・メピフォーム・ケアシートPUPなど）

＜医療機器＞ ※創傷に使用可

- ・綿状創傷被覆・保護材（エスアイエイドなど）
- ・創傷被覆材（デュオアクティブなど）



3 M™ レストン™ 粘着フォームパッド 使用例



3 M™ マイクロフォーム™ サージカルテープ 使用例

③ 定期的な着脱

： 外力低減ケア・スキンケア

- 可能な限り1日1回以上は取り外し、**圧を除去**する
- **皮膚の観察**を行い、スキンケアを行う

④適切な装着、使用方法

：フィッティング



誤った装着や観察不足によって発生しやすい

- ・正しい装着技術を習得する
- ・装着中の観察を行う

まとめ

- がん患者の皮膚は損傷しやすく治りにくい
- スキンケアは全ての「ケア」の基本
あるものを使い、継続できる方法を考える
- 同じケアをスタッフ全員で行う
- 患者に合わせたケアの見直しを行う